

飯塚市立幸袋幼稚園PTA

〒820-0065 飯塚市中513番地5

TEL 0948-22-6422

1 会員及び会費（平成18年度）

区分	P会費	T会費	その他の会費	計
会員数	90人	9人	1人	100人
一人当たりの会費 （年間）	3,600円	3,600円	0円	

2 収支決算

収入の部	会費納入403,200円		その他の収入1336円	計 404,536円
支出の部	費 目	支出額	摘 要（主な使途）	
	研修費	51,022円	会議費、慶弔費、消耗品費、諸負担金 渉外費、研修補助費	
	運営費	351,443円		
	その他	0円		
	計	402,465円		

3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
飯塚市立幸袋幼稚園PTA規約	平成15年5月23日	全面改正・施行

4 発足から今日までのあゆみ

年・月	PTAの改革（活動のトピックスのみ記載）
昭和28年9月 1日	幸袋町立幸袋幼稚園PTA後援会発足

平成15年 5月23日	飯塚市立幸袋幼稚園PTA発足 ※目尾、鯉田、幸袋（庄司分園）の三園一分園が統合
平成15年11月13日	筑豊地区国公立幼稚園PTA研修会（主催）園

5 地域の概要

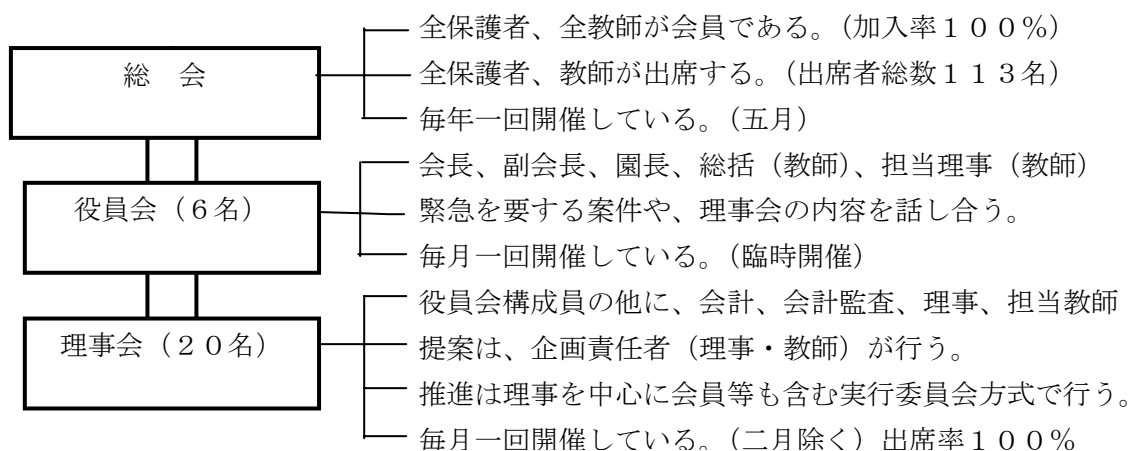
本園は福岡県のほぼ中部にある飯塚市の北部に位置し、街のシンボルである飯塚リサーチパーク、九州工業大学情報工学部、旧伊藤伝右衛門邸等と隣接する市で最も歴史と伝統のある市立幼稚園である。また、静寂な住宅地にある本園を中心に、ほぼ半径100m以内に、市立保育所や小・中学校を有し、極めて教育的環境に恵まれた地域である。

6 組織運営の状況

本園は、子どもや親が育つ幼稚園を創るために『にこにこ・ぐんぐん・どんどん』を合言葉に、会長（役員・理事）や会員（OB・地域）や教師の協力体制のもとで各種行事を実施している。事業の推進にあたっては、年度当初の新旧理事会合同会議で決まった企画責任者（担当理事と教師）が、役員会等の助言をもとに、事業の企画案を作成している。

具体的な推進は、理事（会員やOB含む）を中心とした実行委員会方式で行っている。

諸事業が終わるたびに、会員から感謝・感動・改善の言葉が発せられたかの視座のもとに、理事会では、次年度への事業を検討している。



7 広報活動の状況

会員の子育て支援やPTAの活動を充実するために、園の広報担当者と連携し、親と子と園をつなぐ通信『園だより』や『PTAだより』を発行している。

『園だより』は、毎月発行している。園の行事の紹介や協力要請等を主に行っている。

『PTAだより』は、年度の重要な事業や新規事業の終了後に、役員や理事、会員や職員等の声を掲載し、会員に配布している。

他の関係機関や団体の主催する研修会の参加については役員会（理事会）に図り、できるだけ参加するよう会員に呼びかけている。ともに会員に大変好評である。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する活動の状況

園と連携した親子で遊ぼうの活動、親子歓迎バス遠足、夏のお楽しみ会、親子交通教室や親子餅つき会やバザー等の事業は、会員の親睦や子育てに大変役立つと好評である。

また、毎月19日を『食育の日』と設定し、見直しましょう！“朝ごはんのパワー”を合言葉に、その実績に取り組んでいる。子どもの成長や発達に重要である食育の大切さを認識するとともに、生活リズムの向上（改善）に役立っている。

さらに、園だよりやPTAだより以外に、親と子と学級をつなぐ通信（ひよこぐみだより、りす・うさぎぐみだより、ぱんだ・きりんぐみだより）や園長通信（園長室の窓から）が毎月発行されている。教育方針や毎月の教育活動や園児の様子が分かると好評である。

9 成人教育に関する諸活動の状況

家庭の教育力を高めるために、担当の理事（会員も含む）が中心となって、年二回講師を招いての講演会を開催している。

また、親が育つために、PTA活動を活性化するために“本園にできる活動を作ろう”ということを根底に、理事会を中心に、県や地域主催のPTA研修会にも積極的に参加している。特に、『おべんとうレシピ』（縦13cm・横19cmの厚紙）は、役員提案を受け、公募に応じた〈おべんとうレシピ作り隊〉の会員の力で作成されたものである。

毎日のおべんとうづくりに役立つとともに、園児にも大変好評である。

10 園児の園外生活の指導に関する活動状況

園児は、毎日、保護者と登・降園している。市内13にも及ぶ小学校区から、また、その多くは、自家用車で通園している。交通事故の防止が最大の安全対策と考え、毎年、園（警察署員）と共催して親子交通教室を開催している。毎日の通園や春の親子触れ合いバス遠足や秋のバス遠足はその具体的な実績の場になっている。

また、夏季休業中は、けがや事故のないようにするために、家族で楽しむ夏のお楽しみ会（バザーやゲーム、親子でのブルースカイ音頭）を開催している。

11 地域の教育環境の整備に関する活動状況

『安全と安心の幼稚園づくり』として、毎月20日前後を『安全の日』と設定し、登・降園時に、公園や路地で、幼児や児童の安全パトロールに努めている。緊急な事案は、本園や関係機関に連絡している。16年度には、飯塚ライオンズクラブより24時間監視体制の防犯防止カメラが設置されたことが新聞報道され、さらに、抑止効果が高まった。

さらに、親子でのクリーン活動として、アルミ缶の回収に積極的に取り組み、理事会で協議し、教育環境の向上のために収益金を活用している。

12 今後の課題

会員の多くから「園とPTAが一体化して素晴らしい」という賞賛を得たが、諸活動が母親に傾注している現状がある。更に、子育ても含めPTAを活性化するためにも、父親が積極的に関与する活動を取り入れる必要があると考えている。